

第1回南魚沼市図書館協議会 議事録

日時 令和6年6月26日(木) 午後6時30分～ 南魚沼市図書館多目的室

出席者：根津会長、根津副会長、田中委員、佐藤委員、内田委員、若井委員、諏訪委員、
小林館長、事務局高橋、駒形

欠席者：延命委員、笹尾委員

事務局 只今より令和6年度第1回南魚沼市図書館協議会を開催いたします。お忙しい中、皆さまお集まりいただきありがとうございます。今年度最初の図書館協議会となりますのでよろしくお願いいたします。それでは館長よりご挨拶させていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

館長 皆さま大変お疲れ様です。お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

(館長自己紹介)

どうぞよろしくお願いいたします。さて、本日皆さまに図書館協議会の委員ということで今年度から任期2年でお願いさせていただきました。快く引き受けてくださり誠にありがとうございました。図書館協議会は図書館長の諮問に議論する、図書館に意見する機関でございます。南魚沼市図書館は今年10周年を迎えました。開館当初は皆さま期待を持って迎えてくださった図書館ですが、10年経ち改善点等も皆さまの中にあると思います。この図書館をより良くするために、皆さま活発にご意見を寄せていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。まず初めに、今回引き続きという方もいらっしゃるのですが、初めての会ですので委員の皆さまから自己紹介をしていただきたいと思います。

委員 (各自自己紹介)

館長 では、この顔ぶれで令和8年3月末までいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、議事に入ります。

(「南魚沼市図書館協議会運営規則」第4条の説明)

まず議事の1番目、会長と副会長の選出がされるまでは私が議事を進行させていただきます。よろしくお願いいたします。次第に沿って進めていきます。

(1) 会長、副会長の選出です。

(「南魚沼市図書館協議会運営規則」第3条の説明)

本日は2名欠席、7名出席により会は成立しておりますため、互選で決めていきたいと思っております。特に推薦や立候補がなければ事務局案をお示ししたいのですがよろしいでしょうか。

～意見なし～

それでは会長は社会教育委員の根津ルミ子様、副会長は教育委員会学習指導センターからの根津江美子様に2年間努めていただきたいと思いますが、皆さまよろしいでしょうか。

～意見なし～

では、拍手を以って承認していただきたいと思います。

～拍手～

ありがとうございます。では、会長の根津様、会長席のほうへ移っていただきたいと思います。

館長 それでは議事の進行を変わっていただきますが、会長から一言お願いいたします。

会長 では皆さま改めましてこんばんは。以前はだんぼの部屋代表で図書館協議会に出席していたのですが、今年から社会教育委員になりこちらにやってきました。以前にこちらの協議会で審議して貸出本が増えたり、広報誌の書き方が変わったりと割と意見が挙がる会議なので、皆さまぜひいろんな意見を出していただけるとありがたいです。よろしくお願ひします。では、始めたいと思います。(2) 協議報告事項 令和5年度 利用、事業報告についてお願ひします。

事務局 (事務局自己紹介)
よろしくお願ひいたします。

(" 令和6年度第1回図書館協議会資料 " P.1～4 の説明)

館長 (" 令和6年度第1回図書館協議会資料 " P.1～4 の補足説明)

会長 今の話を聞いて質問やご意見はありませんか。

委員 1つ聞きたいのですが、団体貸出において登録団体数は137ですが、利用しているのが44団体。私も昔、学童で作らせていただいたのですが、自分は読むけれど他の人は読まないためずっと放置していることがあると思うのですが、そういった場合はどうなるのですか。

館長 団体登録に関しては有効期限がありませんので、ずっとお持ちいただくことができます。そのため、93団体は使われていません。使われていない団体は成人者の団体が多いです。介護施設や、図書館が出来た当時に会社などで作られたところもあります。成人者の一般団体が使わず眠らせているところは多いです。あとは、学校司書が団体貸出を活発に利用して学校図書館を充実させたり、先生方から注文を受けて借りることもあります。同じように保育園も借りるところは借りますが、借りないところは全く借りません。遠い保育園は行

き来に時間がかかりますし、貸出数の上限を撤廃して1人が持つことが大変です。お忙しいのが一番の理由だと思いますが、今のところ保育園のご利用はあまりありません。それもPRしていき、使いやすいシステムも考えていきたいと考えています。皆さまからアイデアを出していただけると嬉しく思います。

会長 ありがとうございます。他に何か質疑等ありませんか。

委員 一般の成人者の団体とはどこの団体ですか。

館長 例えば介護施設や、工業団地の会社が社員サービスとして登録しています。南魚沼市図書館で個人事業主の方は団体登録をしていませんが、他の市ではおお店や病院で団体カードを作っています。コロナ禍もあり、こちらは消毒用の機械がないため触れた本をどう消毒するのか、美容院や喫茶店で汚れた本は弁償するのかなど課題を潰していかないと踏み切れず、まだそこには至っておりません。そういったところまで踏みこめればより読書が浸透するだろうと思っています。介護事業所は紙芝居を借りていかれることはあります。高齢者向けの紙芝居を借りていけます。

委員 例えば保育園で本を30冊借りた場合、毎週金曜日に絵本を貸し出して土日に自宅で読んでもらって月曜日に持ってきてもらいます。貸出用に本を借りた場合、自宅に持って帰るのは良くないのでしょうか。

館長 正直な話、そこまで図書館は追いかけてはいませんので保育園が責任を持って借りた冊数を回収して1か月という貸出期限内に揃えて返却していただければ大丈夫です。

委員 すぐ近くなので、貸出用のバッグを持ってきて1人1冊図書館で選んで借りた本を自宅に持っていく。自分で選ぶことに加え、受付の方と貸出しのやり取りを楽しんで借りる経験をさせたいと思っています。年長は29人いるのですが、1人ずつ対応していただけますか。

館長 そういう園もあります。図書館にお散歩がてら来館して団体カードを持って行列を作って1人1人好きな本を選んで貸出体験をしています。小学校も希望されるところはそのようにしています。

委員 秋になったら来館したいと思います。

委員 そのために合わせて読書通帳を作るといいですね。

委員 　　少し補足があります。私が現役の頃は週末に段ボールで借りて読み聞かせていました。自宅に子どもが持ち帰ると管理が難しくなります。園の職員の業務も煩雑になり、責任も大変になるのではないのでしょうか。園にたくさん本はあるため、その中からでいいと思います。図書館から借りた本をまた貸し出すのは面倒かなと思います。どうなのでしょう。

館長 　　確かに園の先生からの負担や責任が大きくなるというお話も実際に聞いたことがあります。図書館としては、どういった形であれ貸した図書がきちんと返ってくる、汚れたり破れた際に修理対応ができなかった場合は現物で弁償していただくという規則は融通を利かせられないため、そこが守れば大丈夫です。借りたからには責任を持って返していただきたいです。

委員 　　29 人全員週 1 回貸し出しているのですよね。それをきちんと行っていけばいいのではないのでしょうか。図書館から担当が借りてクラスに読んであげて団体貸出の中に戻してこちらに持ってくるやり方のほうが煩雑でなく、それでも十分な気がします。

会長 　　他に質問や意見ございますか。
～質問、意見なし～
なければ次にいきたいと思います。次に令和 6 年度 事業計画についてお願いします。

事務局 　　（ " 令和 6 年度第 1 回図書館協議会資料 " P. 5～6 の説明）

会長 　　では、令和 6 年度 事業計画について質問やご意見はありませんか。

会長 　　11 月 16 日は既に決定なのでですね。

館長 　　大体この辺りということで、日付だけ押さえてある感じです。毎年この時期行っています。今年も行いたいというお話をいただきました。
（ " 令和 6 年度第 1 回図書館協議会資料 " P. 5～6 の補足説明）

委員 　　この前にひすいこたろうさんがいらして狭い中でキャンセルもしなくてはいけないほどお客さまが来られました。

委員 　　どのような方なのですか。

委員 　　たくさん本を出していますよね。生き方、心の持ち方などをテーマにした本を書かれていますよね。

館長 図書館 10 周年の記念講演会をするのにも、どのような方をお呼びしたらいいのか非常に悩みました。金銭的な問題もありますが、10 周年であるためそれなりに著名な方をお呼びしたいと感じていました。図書館なので全く図書と関係のない方も困りますので、図書も出版されている気象予報士の方をお呼びしました。

会長 絵本作家さんが何回か来てくださったことがあって楽しかったですね。きむらゆういちさんは工作をしたりワークショップでしたね。真珠まりこさんもいらしてくださいましたね。

館長 絵本作家さんはお呼びしたらお客さまはそれなりに見込めるものでしょうか。

会長 結構来ますが、結局予約で 7 割ほどしか来ないので当日知って参加したい方が入れなくて残念だと思いました。

委員 絵本の人気にもよりますね。

館長 そうですね。みんなが知っている絵本の作家さんだと集客が見込めますね。

委員 そうすると金銭的な問題が出てきますよね。

会長 今泉博物館では作家さんがご自身の絵本を読むという素敵な企画がありました。

館長 いろんな企画を考えたいと思っていますので、いい企画やいい方をご相談させていただきたいです。

会長 他にご意見ございませんか。

～質問、意見なし～

(3) その他ですかね。

館長 皆さまにご利用いただきたいのが、未満児や保育園でブックスタートフォローアップ事業を始めました。4 か月健診のときにブックスタートとして初めての絵本を 2 冊プレゼントしていました。保護者次第なのですが、本に親しむ気はあってもそれで終わりという方もいらっしゃいました。ブックスタートで絵本に出会ったことのフォローアップをしながら本との繋がりを途絶えさせたくないという思いがあります。図書館に来ていただくだけでなく、図書館司書も出向こうと始めたのですがあまり利用がありません。子育て支援センターなど親子が集まる場所に出かけて親御さんと子どもとの触れ合いのツールとして絵本が活用できることを伝えたいと思っています。ぜひ機会があれば

ば呼んでいただきたいです。この間小中学校図書館協会の研修を行い、モデル学校を例に挙げて、司書がいることによる学校図書館の変化をご紹介いたしました。他と比べるために、試しに六日町小学校だけ週4日間特化して実験的に勤務していただきました。そうすると図書室に子どもが来るようになり本に親しむようになりました。司書が複数校勤務で毎日いないと職員もストレスが溜まります。司書を置くメリットをお話ししました。学校のほうからも司書を常駐させてほしいという声を出していただきたいですし、図書館連携のほうも活用していただきたいと思っております。

会長 私は中之島小学校に勤めているのですが、司書さんが季節ごとに本を入れ替えてくださるんです。自分では見つけられない本もそこにあれば手に取りますし、続きを読もうとするなどとてもいいなと感じています。今まで本を手にとらなかった子どもも入口にあるので取って読むなど上手に工夫されています。この前も図書旬間だったのでビデオでの絵本の読み聞かせもよかったなと思います。1回しかなかったのが少し残念でした。良い活動をしていますね。

館長 ありがとうございます。そういった声があると司書、事務員たちも励みになると思いますのでお伝えさせていただきます。

委員 (3)のブックスタートのフォローアップ事業についてです。親子揃って本を好きになってもらう、親が好きになると子どもも好きになる第一歩なのですが、難しいです。子どもの集団がない、そして親がどこで子どもに読んであげるか、集めても親が集まらない、どうですか。20年前から感じていました。

委員 年長の面談が終わったばかりなのですが、YouTube等を見ている子どもが多くて絵本離れをしています。本が好きなお母さんなら図書館に子どもと行くのでしょうか、そうなりません。先ほどもお話ししましたが、金曜日に貸し出してそのまま返す子どももいます。子どもが図書館に行って楽しかったことを家庭で話せば、親も行ってみようかとなるのではないのでしょうか。YouTubeではなくて絵本に繋がるかなと思い、こちらから子どもたちに図書館に行く機会を与えたいです。子どもが行きたいと言ってくれたらいいなという期待もあります。

館長 確かに難しいのですが、ブックスタートの会場を健診会場ではなく図書館で丁寧に1組1組のご家族に対応するようしたところ、水曜日の絵本のへやの参加数が徐々に増え始めました。それはブックスタートに参加した親御さんがまたリピーターとなったのだと思います。ここに図書館があることや、読み聞かせの事業があるため図書館に戻ってきてくれています。図書館に会場を移すとそのような現象が現れ始めました。1回のブックスタートは来ない方もいらっしゃるようです。ですが、その後の絵本の読み聞かせ事業へのリピートに

関しては成功しています。

委員 親に絵本は良いものだと思ってもらわなければいけません。子どもが行きたくても親が車で乗せてこなければ行くことができません。親を動かすにはどうしたらいいのでしょうか。本が嫌いな子どもはいません。子どもに一番本を読んであげているところは保育園だと思います。毎日1、2冊読んであげるのが基本だと思います。自宅に本があると読まなくても思い出して、また図書館に行くことに繋がるため職員の頑張りどころだと思います。

委員 本はすぐに映画、ドラマ化してしまいます。興味があっても本ではなく映像作品を見る方もいます。子どもも行間を読むことが苦手になっているように感じます。本を読まないと言間を読むことが下手になってしまうのでしょうか。

委員 高校生も本が好きな生徒は親の影響を受けている場合が多いです。

館長 統計調査でも、身近に本がある、身近に本を読む人がいると本を読む子どもになるという結果が出ました。

委員 結局コミュニケーションの問題にも繋がりますよね。大人もそうですし、子どももそうなのかなと。

館長 大人もそうですよね。

委員 言い回し等で回避できることもあります。本の知識や語彙力があればもっと円滑に進むこともたくさんあるのではないのでしょうか。

館長 確かにそうですね。

委員 私は前の学校が十日町だったので情報館の連携もありました。特に良いと思った点が十日町の場合、1年生は全員図書利用カードを作ります。巡回図書が来るためカードを持っていないと借りられないのです。子どもたちは借りたいので、申込書を提出して必然的に図書利用カードを作ることになります。子どもたちも嬉しそうに図書カードを持っていましたし、その場で図書館の職員が貸出手続きをしてくれました。期限内であれば学校に返却できますし、期限を過ぎると図書館に返却することになるので親を巻き込むことができます。子どもたちは自分だけのカードがあると嬉しくて図書館に行きたいという気持ちにもなりますし、学校に来てもらえると担任がしなくてもいいのですごくありがたかったです。私たちも負担なく、一緒に楽しむことができました。年に2回ほどありました。

- 館長 申込書は学校に提出するのですか。
- 委員 それもできると思います。カードがあれば図書館に行きたいと思うでしょうし、そういう形を作って1年生という早い段階であればあるほど良いのかなと子どもの様子を見て思いました。
- 委員 司書の方がやってくれるのはいいですよ。年長の担任は煩雑ですから。ですが、保育園の児童は図書館まで行くほうが良いと思います。園で貸出しもやっていますから。
- 委員 こちらの図書館に行く経験をさせてあげたいです。
- 委員 市内の小学生は図書館があることもわからない子どももいました。
- 委員 先ほどの1年生のみんなに配るとするのはとても良いと思いました。返却するときには親も来て他の本に触れる機会があるのがいいですね。
- 委員 貸出しの日は嬉しそうにしていました。自分のカードという特別感もあるのでしょうか。
- 会長 せっかく読書通帳を配っても結局使わないこともありますからね。
- 委員 本を好きになって、どこか行きたくなったときに図書館に来てくれるようになれば、親もそこまで遠くに行かずに楽しめるので、図書館に行くきっかけになります。
- 館長 そうですね。そこで親も巻き込むということですね。
- 委員 またいろいろと考えて子どもを何とかこちらの図書館に連れていきたいと思っていますので、それは実行させてもらいます。自宅に持ち帰るかはまた考えます。例えば1か月借りられるので、自分が選んだ本を順番に担任に読んでもらえばみんなの本が読めますし、自分が選んだという特別感があると違うと思います。親が忙しくて読めなくても保育士たちが生の声で読んであげる。言葉を繋げていく一番下の段階に私たちがいると思うので、もう少し頑張っていきたいと思います。
- 委員 図書館に見学に来る小学校や保育園の子どもたちがいるのですが、司書が読んでくださるんですよ。いい子になって聞いているので、そういう楽しみもあるのではないのでしょうか。声を掛けていただければ私も行きます。絵本に描かれている絵の実物の写真等もあるといいですよ。

会長

ありがとうございます。他はいいでしょうか。

～質問、意見なし～

では、ないようですので今回はこれで終わりたいと思います。皆さまありがとうございました。